



教育目標 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

令和5年11月20日(月) 発行 第8号

『合唱コンクール』

校長 田代 雅規

「旅たちの日に」、「翼をください」、「時の旅人」など、学校での合唱を通して広く知られる曲は多数あります。今も多くの学校で合唱コンクールがクラス対抗として行われています。戦前の教育における合唱は、1882年に最初の小学校音楽教科書が発行され、学校教育に歌唱が導入されていき、西洋音楽と合唱は全国に広まりました。そして、卒業式などの儀式的行事で合唱は行われるようになり、歌唱を通じた教育が進められました。

戦後、音楽科の学習指導要領に合唱活動の練習方法等、具体的な記述が盛り込まれ、学校での合唱活動が盛んになり、1950年後半から各地の公立学校でクラス対抗の合唱コンクールが行われるようになりました。1960年代は、1クラス60数人いた過密学級で、合唱の指導も十分にできず、大変苦勞する中、1クラスをいくつかのグループに分けて、各グループに音楽リーダーを置き、自主的に合唱練習をする体制が生まれました。

また、合唱コンクールが各学校に広まった要因の1つに、当時としては先進的な曲を各学校で扱っていたことがあります。歌唱教材は1969年の学習指導要領の教科書までは、外国曲の教材が8割程度を占めていました。しかし、1970年代から変声期の男子に配慮した、中学校や高等学校の生徒のための混声三部の合唱曲が次々と作られました。クラス対抗の合唱コンクールの広がりに伴い、1980年代にはクラス合唱用の楽曲や曲集が教科書以外にも多数出版されました。

さらに、学校の荒れが問題となった1980年代には、合唱コンクールが荒れたクラスをまとめる団結力を深める方法として流行したとも言われています。実際に学校を合唱で建て直したという物語も語り継がれています。

道徳の教材にもなっている合唱曲「旅たちの日に」は、声を出さない、挨拶しない生徒たちを変えたいと合唱に取り組んだ校長先生と音楽の先生が、1991年の卒業生に送った曲で、今では卒業式の定番として全国の学校で歌われています。私が、中野区の中학생だった時にも合唱コンクールがありました。今から50年前のことです。覚えているのは、優勝したクラスが学校代表として、「中野公会堂」で歌ったことです。緊張して、指揮者もよく見て歌えなかったことを覚えています。合唱コンクールは卒業して、何年経っても忘れない行事でした。

新型コロナウイルスの影響により、3年間多くの学校で合唱コンクールが中止となりましたが、今年度から多くの学校で合唱コンクールが復活しました。練習時間の確保や当日の時間短縮のために、自由曲だけで実施したり、順位付けを辞めて、発表会形式にしたりした学校もあります。

中野中では、限られた練習時間の中で、今まで通りの各クラス2曲の発表を行い、コンクール形式で順位付けも行いました。伴奏者は、夏休み前から練習に取り組みました。合唱の練習期間中にも様々なトラブルがありました。インフルエンザの流行にともない、放課後の練習にも人数が揃わず、十分な練習ができなかったり、指揮者が怪我をしてギブスのまま指揮をしたりしたクラスもありました。

いろいろな課題もありましたが、中野中の生徒たちは、実行委員を中心に最後までクラスをまとめ、良い合唱を聴かせたいと精一杯頑張っていました。当日は、土曜日開催ということもあり、保護者の方や地域の方の参観者は750名以上になりました。多くの人に中野中生の素晴らしさを見ていただくことができました。特に3年生の合唱はどのクラスも素晴らしく、来年につながる良い合唱でした。

これからも合唱コンクールが、中野中の良き伝統として、引き継がれていくことを願っています。

合唱コンクール

中野 ZERO ホール



令和5年10月28日(土)



当日の合唱コンクールは、司会・進行もすべて生徒の実行委員会が中心に行い、中野中では各クラスの曲紹介は、練習風景の写真を取り入れて、紹介映像を実行委員がつくり紹介しました。

ステージ上の看板も美術部が中心になり今年の合唱コンクールのスローガン『完全燃唱』を作りました。また、各クラスの伴奏者や指揮者は、夏休み前から練習に取り組みました。

生徒アンケートの結果、協力して取り組みましたかという問いに、98.2%(1年)、96.9%(2年)、98.9%(3年)の生徒が、クラスで協力できたと回答していました。みんな頑張りました。



1年B組



1年D組



1年C組



1年A組

<1年合唱>

課題曲「変わらないもの」

自由曲

B組「旅立ちの時」

D組「HEIWAの鐘」

C組「怪獣のバラード」

A組「COSMOS」



最優秀クラス 1年D組

優秀クラス 1年A組

1年生は、初めての合唱コンクールでとても緊張していました。でも、1年B組から良い合唱が始まり2年生につながりました。

2年生の合唱も素晴らしく、午後の3年生にはプレッシャーになりました。3年生の各クラスは、円陣を組んだり、話し合ったり、3年生はみんな力が入っていました。どのクラスの合唱も来年につながる素晴らしい合唱でした。



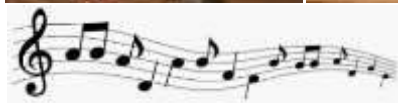
2年A組



2年B組



2年C組



3年B組



3年C組



3年A組

<2年学年合唱>
課題曲「僕らの奇跡」

自由曲
A組「輝くために」
B組「明日へ」
C組「君とみた海」



最優秀クラス 2年C組



<3年学年合唱>
課題曲「大地讃頌」

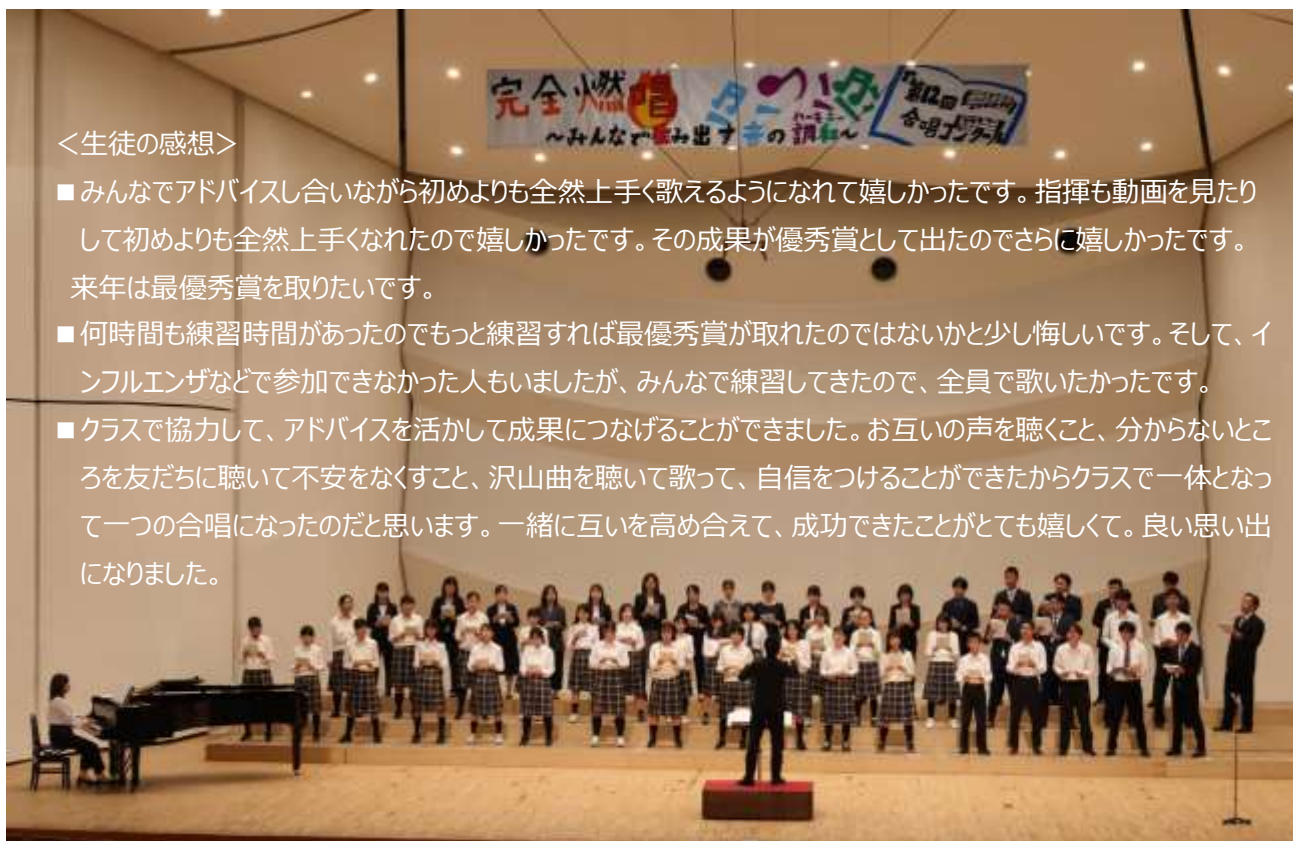
自由曲
B組「信じる」
C組「虹」
A組「ほらね、」



最優秀クラス 3年C組

<生徒の感想>

- みんなでアドバイスし合いながら初めよりも全然上手く歌えるようになって嬉しかったです。指揮も動画を見たりして初めよりも全然上手くなれたので嬉しかったです。その成果が優秀賞として出たのでさらに嬉しかったです。来年は最優秀賞を取りたいです。
- 何時間も練習時間があつたのでもっと練習すれば最優秀賞が取れたのではないかと少し悔しいです。そして、インフルエンザなどで参加できなかった人もいましたが、みんなで練習してきたので、全員で歌いたかったです。
- クラスで協力して、アドバイスを活かして成果につなげることができました。お互いの声を聴くこと、分からないところを友だちに聴いて不安をなくすこと、沢山曲を聴いて歌って、自信をつけることができたからクラスで一体となって一つの合唱になったのだと思います。一緒に互いを高め合えて、成功できたことがとても嬉しくて。良い思い出になりました。



- 私はアルトパートなのでつられないように歌うのが、とても難しく声が小さかったけれど、だんだんと練習していくうちにつられなくなりました。それが、とても嬉しかったです。本番舞台上がった時は思っていた以上に緊張し、足が震えてしまい、驚きました。しかし、歌い始めるとだんだん緊張も解けてきて楽しいと思いました。終わった後、最優秀賞が取れないのではないかと緊張したけれど、最優秀賞だとわかり合唱コンクールがあつて良かったと思いました。
- 自分のクラスは惜しくも最優秀賞を取ることができなかったけれど、本番はとても楽しく歌えたと、合唱コンクールのためにクラス一丸となってたくさん練習したことはとても良い思い出になったと思います。また、私たち3年生にとって今年が初めての何の制限もなしにお客さんをたくさん入れて、通常通りに行えた合唱コンクールだったので、最後の年にこのような合唱コンクールを実施できたことはすごく幸せだと思いました。



【保護者の方の感想】

- ◎ 子どもも合唱コンクールにむけ、クラスで頑張っている姿がみられ、とても良かったです。有志合唱や吹奏楽部の演奏では会場全体が手拍子をして一体感を味わうことができ感動的でした。先生方や色々な方の協力があつて子どもたちも全力で頑張ったのだと思います。本当にありがとうございました。

